

The logo for Japan Travel Awards is a white circle with a thin line, partially open at the top and bottom. Inside the circle, the text "JAPAN TRAVEL AWARDS™" is written in a clean, white, sans-serif font. The background of the entire image is a scenic landscape of rolling mountains and valleys, captured during a vibrant sunset or sunrise. The sky is filled with soft, colorful clouds in shades of purple, pink, and orange, transitioning to a bright yellow glow near the horizon. The mountains are layered, with the foreground showing lush green and autumnal foliage, and the background showing hazy, distant peaks. The overall mood is serene and majestic.

JAPAN  
TRAVEL  
AWARDS™

[japantravelawards.com](http://japantravelawards.com)



# ジャパントラベルアワードとは

What is Japan Travel Awards?

ジャパントラベルアワードは、全国の自治体・観光団体・企業・個人における観光やダイバーシティ&インクルージョンの推進に関する取り組み等をもとに、日本の新たな「感動地」を発見・発信していく活動です。

グローバル&ローカルな視点を持った各界のエキスパートが審査員となり、グランプリを含む10のカテゴリーの受賞者にふさわしいデスティネーションを選出します。受賞者はジャパントラベルアワードが出版する公式ブックや公式サイト、外部メディアでの掲載を通して国内外へ発信されます。

## わたしたちの考える参加者像

Who should enter the Japan Travel Awards?

「観光から多様な社会をつくる」という理念のもと生まれたジャパントラベルアワード。日本中の感動地に関わるすべての方と共に、観光をアップデートしていきます。

1. アフターコロナに向けて、認知度を国内外で向上させよう
2. 強み・弱みを再認識し、競合との差別化を図ろう
3. 客観的かつ国際的な基準で自分たちを評価しよう
4. 輝かしいアワード受賞で世界&地元へアピールしよう
5. ダイバーシティの実現に向けて日本を牽引しよう

## 参加資格

Eligibility

以下のいずれかに当たる自治体、法人、個人であれば、どなたでもエントリー可能です。

- ・旅行者が「行ける」場所や地域
- ・旅行者が「体験できる」こと
- ・旅行者が「泊まれる」場所や地域
- ・旅行者が「会える」人やコミュニティ

参加資格に関してのご相談は、お問い合わせフォームよりお願いいたします。

# エントリーから受賞までの流れ

## Process

### 1. エントリー

まずは公式サイト (japantravelawards.com) のエントリーフォームよりエントリーをしてください。  
現地調査をしない場合、費用は最後までかかりません。また、エントリーは1分ほどで完了します。

記入項目：企業・団体名、ウェブサイト、電話番号、メールアドレス、担当者名



### 2. 書類審査

エントリーした応募者には、観光やダイバーシティに関するこれまでの取り組み、PRポイント、今後の計画等が記載されたエントリーシートをご提出いただきます。提出資料をもとに、書類審査を実施し、基準に達している応募者をノミネート候補 (Candidate) として認定します。

確定メリット：書類審査の評価コメント及びフィードバック



### 3. 現地審査

審査員3名が現地へ行き、審査項目に沿って審査を実施します。過去および未来の取り組みなどについてもヒアリングします。  
現地審査が終了した時点で Japan Travel Awards 2022 に正式にノミネートされます。

確定メリット：ノミネートロゴの提供、ノミネートページ (Web掲載)、現地審査の評価レポート



### 4. ファイナリスト選出

書類審査と現地審査の結果をもとに、各カテゴリーごとのTOP5がファイナリストとして選出されます。ファイナリストまで残ると、公式ブックの掲載など、各種プロモーション特典が確定します。

確定メリット：表彰状、公式ブック掲載4ページ、公式ウェブサイト記事掲載、プレスリリース配信、ファイナリストロゴの使用ライセンス



### 5. 最終審査

ファイナリストが出揃ったところで、審査委員会による最終審査が行われます。書類審査と現地審査の内容をまとめたレポートをもとに、審査員が各自で審査を行います。その後、審査委員会が開催され、協議の上グランプリ及びカテゴリー受賞者を決定します。



### 6. 受賞発表

グランプリとカテゴリーの受賞者がアワードセレモニーで発表されます。受賞者には数々の受賞メリットが用意されています。

- ※書類審査を通過した場合、審査員特別賞に選定される可能性があります。  
しかし、現地審査を実施しない場合は、グランプリやカテゴリー賞の受賞の候補にはなりません。
- ※現地審査には審査料及び実費をご負担いただきます。

# 実施スケジュール

## Schedule

### 応募期間

6月28日（月） エントリー受付開始

9月17日（金） エントリー受付締切

10月1日（金） エントリーシート締切

### 書類審査

7月5日（月）～10月20日（水） 書類審査期間

7月6日（火）～10月21日（木） 審査結果通知

### 現地審査

7月7日（水）～12月10日（金） 現地審査期間

12月22日（水） ファイナリスト選出

### 最終審査

12月23日（木）～1月21日（金） 最終審査期間

3月16日（水） 受賞式

## 費用

### Cost

対象	必須/オプション	内容	金額（税込）	備考
すべてのエントリー	必須*	書類審査費	¥0	
書類審査通過したエントリー	必須**	現地審査費	¥77,000/日 + 実費（交通宿泊費）	1日あたりの視察先は3箇所程
ファイナリスト	必須	ファイナリストパッケージ	¥220,000	表彰状、公式ブック掲載、 公式ウェブサイト掲載、 プレスリリース配信、 受賞/ファイナリストロゴの使用権

【応募から受賞までにお支払いいただく費用の目安】  
書類審査料 0円 + 現地審査料 77,000円 + 受賞パッケージ料 220,000円 = 合計 297,000円（税込）  
（現地審査が1日以上の場合の追加審査費や交通宿泊費などの実費が発生することがあります）

\*エントリー、書類審査には費用はかかりません。書類審査を通過すると、審査員特別賞に自動的にノミネートされます。

\*\*グランプリ、カテゴリー受賞をするためには現地審査が必須です。

### その他のオプション

対象	必須/オプション	内容	金額（税込）	備考
現地審査を実施するエントリー	オプション	記事の執筆掲載	110,000円/本	公式ウェブサイトでの掲載
現地審査を実施するエントリー	オプション	公式ブック掲載（2ページ）	¥200,000	
現地審査を実施するエントリー	オプション	公式ブック掲載（4ページ）	¥400,000	
現地審査を実施するエントリー	オプション	公式ブック掲載（6ページ）	¥500,000	
ファイナリスト	オプション	受賞式の参加費	1万円/人	

\*ファイナリストに選出されると4ページの掲載が確定しますが、オプションでページ追加も可能です

\*ファイナリストに選出されなかった場合も、オプションで掲載が可能です

# 審査委員会

## Core Judges

グローバル&ローカルな視点を持ち合わせた  
各界のエキスパートが厳正・公正な審査を実施します。



Josh Grisdale

CANADA / JAPAN

四肢まひ性・脳性小児まひにより、車いす生活。高齢者施設でウェブマスターとして勤務するほか、障がいを持つ外国人旅行者のための情報サイト「Accessible Japan」の運営や、国や自治体、企業向けに講演を行うなど広く活躍。2007年より東京在住、2016年に日本国籍を取得。



Vicki L. Beyer

USA / AUSTRALIA

一橋大学大学院の教授、労働法専門社内弁護士として働く傍ら、旅行専門のライターとしても精力的に活動し、これまで自身のブログをはじめ様々な媒体に記事を寄稿。日本在住歴は30年以上で、全国47都道府県を既に制覇している。日本外国特派員協会(FCCJ)監事。



Samantha Catigan

AUSTRALIA

オーストラリア政府インフラ・運輸・地方開発・通信省(DITRDC)の航空専門家として、オーストラリアのインバウンド観光客誘致戦略等に携わり、最新の世界的な旅行トレンドなどに精通している。また、ほぼ毎年訪れているほど日本が好き。



Georgie Ichikawa

UK / JAPAN

PUMA JAPAN株式会社のクリエイティブ・デザイン責任者として数々の商品を世に出すほか、日本のLGBTQ+の環境改善と同性婚の理解促進を目標とした日本初のゲイコンテスト「ミスター・ゲイ・ジャパン」の運営代表、クリエイティブディレクターを兼任。映像クリエイターとしても活躍。



Victoria Vlisides

USA

2014年から2019年までは日本在住で、「GajjinPot Travel」の編集長としても活躍。現在は、ウィスコンシン州政府観光局でマーケティングマネージャーとしてアメリカ国内外に向けたトラベルマーケティングに従事。特にアメリカ市場の観光マーケティングの最新トレンドに精通。



Alex Bradshaw

UK

ユネスコ世界文化遺産に登録される仙巖園で海外営業部長を務めるほか、鹿児島県海外広報官や全国での講演など精力的に活動。2019年には合同会社GOTOKUを創業し、全国の自治体や企業に対し富裕層市場獲得に向けたコンサルティング等も行う。2005年より鹿児島県在住。



Suzanne Kamata

USA

作家。車椅子の娘と国内外を旅した回想録『Squeaky Wheels: Travels with My Daughter by Train, Plane, Metro, Tuk-tuk and Wheelchair』等、これまで15以上の作品を出版し数多くの賞を受賞。1988年より徳島県在住で、鳴門教育大学の准教授も務める。



Emilie Achilles

USA / JAPAN

ホスピタリティマネジメントをニューヨークで学び、東京、ニューヨーク、ロサンゼルスなどの高級ホテルやレストランで10年以上の経験を持つホスピタリティエキスパート。現在は、グランドハイアット東京でインバウンドマーケティングを担当し、ラグジュアリートラベルに精通。

# 現地審査員

## On-site Assessment Judges

現地に赴き、審査基準に沿って審査を実施。  
同時に写真撮影やヒアリングなども行います。



Ally Hongo

BULGARIA

東京大学大学院を卒業後、毎日新聞英語版 The Mainichi や Japan Today で記者として活躍。その後は、Savvy Tokyo 編集長、Tokyo Weekender チーフコンテンツマネージャーを歴任し、2021年に株式会社しいたけクリエイティブ創業。日本外国特派員協会(FCCJ)会員。2001年より東京在住。観光庁「世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業の外部専門人材。



David Jaskiewicz

AUSTRALIA

東京在住のグラフィックデザイナー・写真家・映像作家。オーストラリアでファッションデザイナー、大学教員など幅広く活躍した後、2014年に来日。国内英字媒体のアートディレクターを経て、2021年、株式会社しいたけクリエイティブのクリエイティブディレクターに就任。観光庁「世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業の外部専門人材。



Seiya Hongo

JAPAN

インドネシアやアメリカなど海外歴10年のプロデューサー。国内最大級の英字媒体を運営する株式会社ジープラスメディアやENGAWA株式会社を経て、株式会社しいたけクリエイティブを創業。日本と海外両方の視点から、海外向けの日本PRコンテンツの企画・制作・発信を行う。観光庁「世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業の外部専門人材。

# 特別審査員

## Honorary Judges

海外の有名トラベルメディアの編集長や駐日大使など、  
海外での強い影響力を持つ方々が特別審査員を務めます。



Lyn Hughes

UK

受賞歴もあるイギリスのトラベル雑誌『Wanderlust』の創業編集長。イギリスの最も影響力のあるトラベルジャーナリストとしても知られ、タイムズ誌の「トラベルで影響力のある50人」などにも選出されている。



Teimuraz Lezhava

GEORGIA

駐日ジョージア臨時代理大使。ジョージアと日本の交流を深めるため日々奔走する傍ら、家族で日本国内を旅行することも多い。Twitterでは4万人以上の日本人にフォローされる有名人。4歳の時に家族と日本に移住し、在日歴は20年以上。

# 受賞カテゴリー

Award Categories



グランプリ

Grand Prix

総合的に最も多くの評価を集めた応募者に贈られます。

## 部門賞

Category Awards

※以下の6カテゴリーについては、現地調査が必須です



アクセシビリティ部門

Most Accessible

アクセシブル・ツーリズムに対し深い理解をもち、最もアクセシブルな体験を提供している応募者に贈られます。誰もが快適で楽しく旅行できるようなコンテンツも評価の対象です。



LGBTQ+部門

Best LGBTQ+ Friendly

LGBTQ+コミュニティに対し深い理解をもち、最もインクルーシブな対応がされている応募者に贈られます。LGBTQ+の旅行者に訴求力のあるコンテンツも評価の対象です。



ホスピタリティ部門

Best Hospitality

宿泊や飲食での体験を通して、最も素晴らしいおもてなしを提供している施設や店舗などに贈られます。アツと驚くようなホスピタリティや、そのほか関連するコンテンツも評価の対象です。



サステナブル部門

Most Sustainable

SDGs（持続可能な開発目標）に則して、最もサステナブルな取り組みをしている応募者に贈られます。社会に変革をもたらす創造的なアイデアや、社会問題の解決を目指した努力も評価の対象です。



ラグジュアリー部門

Best Luxury

想像を越えるラグジュアリー体験や感動を最も提供している応募者に贈られます。ここでの「ラグジュアリー」は値段が高だけでなく、本当の贅沢さを追求したコンテンツなども評価の対象です。



ファミリー部門

Best Family-Friendly

家族みんなで楽しめる地域やスポットなど、最もファミリーフレンドリーな応募者に贈られません。子どもと一緒にできるアクティビティや、ファミリーに嬉しいサービス、インフラの整備等も評価の対象です。

## 審査員特別賞

Special Recognitions

書類審査を通過した中から、審査員が選びます。現地審査は必須ではありません。



コミュニティ部門

Best Community

コミュニティ内の人々の情熱や努力で、トラベラーにとって最も魅力的な価値を提供している応募者に贈られます。地域全体だけでなく、人の魅力が発信できているコンテンツなども評価の対象です



サプライズ部門

Most Unexpected Discovery

希少性や意外性のあるコンテンツで観光地としての魅力を創り出し、審査員に最も大きな驚きを提供した応募者に贈られます。特に対象は決まっておらず、インパクトが重視されます。



メディア部門

Media Popularity Award

ジャパントラベルアワードのメディアパートナーが選ぶ特別賞です。各メディアが最も取り上げたいと思った応募者に贈られます。

# 参加のメリット

## Japan Travel Awards Benefits

エキスパートのフィードバックから国内外でのメディア露出まで。  
参加することで多くのメリットが受けられます。



## ノミネート候補者

### Candidates

#### 審査員特別賞ノミネート

現地審査を必須としない審査員特別賞に自動的にノミネートされ、受賞のチャンスがあります。

#### 書類審査のフィードバック

エントリーシートに対して審査員からのフィードバックを受けられます。  
今後のご参考にご活用ください。



## ノミネート

### Nominees

現地審査が終了すると、晴れて正式にノミネート。ノミネートが決定した時点で、  
以下のメリットが提供されます。

#### 公式Webサイトでノミネートページ掲載

ジャパントラベルアワードが運営する公式Webサイト上で、ノミネートとして掲載され、  
世界中のユーザーへ紹介されます。

#### 撮影写真の提供

現地審査の際にプロのカメラマンが撮影した写真を、最大10枚まで編集し提供します。  
提供写真は、ご自由にお使いいただけます。

#### Nominated ロゴ使用ライセンス

ノミネートされた証として、Nominatedと刻印の入ったロゴデータが提供されます。  
今後のPRにご自由にご活用いただけます。

#### 現地審査評価レポート

現地審査員からの評価やコメントをまとめたレポートが提供されます。  
今後の施策にご活用ください。

次のページに続く





## ファイナリスト

### Finalists

ノミネートされた応募者の中から、特に高い評価を受けた各カテゴリーTOP5がファイナリストとして選出され、その時点で以下のメリットが提供されます。

#### 公式Bookでの掲載（4ページ）

従来のガイドブックや観光情報サイトのような観光地の紹介ではなく、「感動地への招待」。そんな世界観を表現した公式ブックに掲載が確約されます。

#### 公式Webサイトでの記事掲載

公式webサイトにオリジナル記事コンテンツが掲載されます。  
公式ブックに載りきらなかった情報なども掲載することができます。

#### Finalist ロゴ使用ライセンス

ファイナリスト選出の証として、Finalistと刻印の入ったロゴデータが提供されます。  
今後のPRにご自由にご活用いただけます。

#### 受賞式への参加

2022年3月中旬に開催される受賞式にご参加いただけます。

#### 審査委員会評価レポート

評価コメントやフィードバックなど、今後の活動に役立つレポートが提供されます。



## アワード受賞

### Winners

受賞式でグランプリ、そして各カテゴリーの受賞者（部門賞）で発表され、その時点で以下のメリットが提供されます。

#### PR動画制作【グランプリのみ】

グランプリ受賞者には、PR動画制作が贈られます。制作された動画はJTAの広報動画としても活用されます。

#### 英字媒体での記事掲載

国内外の英字媒体で受賞者の紹介をする記事を掲載。アワード受賞をフックにより多くの読者の関心を引くことができます。

#### 公式Bookでの掲載（6ページ〜）

公式ブックでの掲載は、ファイナリストよりもページ数が多く用意されていて、より魅力を伝えることができます。

#### メディア露出

国内外の主要メディアおよびトラベル関連メディアには、プレスリリース、メーリングリスト、SNSを通じて受賞者の情報が配信され、多くのメディア露出が見込めます。

#### Award Winner ロゴ使用ライセンス

アワード受賞の証として、Grand Prix もしくは Category Winner向けのロゴデータが提供されます。  
PRにご活用ください。

# 提供メリット例

Japan Travel Awards Publicity Tools

## 公式ブック



## 公式ウェブサイト



## JTAロゴ



# よくある質問

## FAQ

みなさまからよく寄せられる質問を以下にまとめております。  
そのほかの質問がありましたら、お手数ですが、事務局までお問い合わせください。

### Q. エントリーの対象はどのようなものがありますか？

A. 個人の旅行者が実際に「行ける」「体験できる」「泊まれる」「会える」ことのうちどれか一つでも当てはまることが、唯一のエントリー条件です。  
例えば、地域、観光スポット、宿泊施設、飲食店、体験アクティビティ、人などはエントリー可能です。

### Q. 最大いくつのカテゴリーにエントリー可能ですか？

A. エントリーできるカテゴリー数に上限はありません。それぞれのカテゴリーで受賞されるべき理由をエントリーシートでアピールしてください！

### Q. 複数の自治体や事業者でエントリーすることは可能ですか？

A. 可能です。しかし、海外の方々にも伝わりやすいよう「デスティネーションごと」でのエントリーが条件です。詳細はお問い合わせください。

### Q. 受賞で得られるメリットは何ですか？

A. ファイナリストに選出されると、国内外で販売される公式ブックでの掲載や公式ウェブサイト掲載、メディアに向けたPRなど多くのメリットが用意されています。受賞のメリットについての詳細はお問い合わせください。

### Q. 現地審査で訪れる場所は何箇所くらいを想定していますか？

A. エントリーいただいた内容をもとに審査に訪れる場所を決定します。1日あたり3箇所、2泊3日を上限と想定しています。

### Q. 審査員はどのように審査をするのですか？

A. 書類および現地審査では項目ごとに点数がつけられ、点数をもとにファイナリストが選定されます。審査内容がまとめられた報告書が審査委員会で共有され、各審査員が各自で厳正に審査します。その後、審査委員会を開催し、協議の上グランプリ及びカテゴリー受賞者を決定します。

### Q. 費用はかかりますか？

A. 書類審査通過をすると自動的にノミネートされる審査員特別賞の場合、費用は一切かかりません。しかし、グランプリやカテゴリーの受賞には、現地審査が必須のため現地審査費などが発生します。詳しくはお問い合わせください。

### Q. 費用の支払い期限はいつですか？

A. 各審査を実施する前にお支払いが完了している必要があります。自治体の助成金・補助金やクラウドファンディングを活用して費用を捻出する場合は、支払い期日の調整も可能ですので、まずはご相談ください。そのほかの質問は、メールもしくはお電話（03-3462-6074）でお問い合わせください。

## パートナー募集

### Partners

メディアパートナーや企業パートナーを募集しています。  
私たちの活動に賛同していただける、みなさまからのご支援をお待ちしています。

ご協力いただきたい内容は以下を想定しております。

■ **メディアパートナー**：広報活動全般、受賞やファイナリスト決定時の告知

■ **企業パートナー**：取材時の交通や宿泊に関わるご協力  
イベント開催に関わる場所、飲食のご提供 など

グローバルな視点で日本に暮らすすべての人々にとってインパクトのある活動となるよう、多くのパートナーのご参画をお待ちしています。

まずは、メールかお電話でお問い合わせください。

## 個人支援者も大募集

### Supporters

ジャバントラベルアワードは、より多くの地域の方々にご参加いただくことで、本当に意味のあるプロジェクトになります。

そのため、エントリーにかかる費用、受賞者・ファイナリストが得られる参加メリット、そして運営にかかる費用を抑えるためにも、この活動にご賛同いただいた個人の方々からのご支援をいただき、プロジェクトを進めています。

現在、CAMPFIREでクラウドファンディングに挑戦中です。  
こちらでもご支援いただけますと大きな励みになります。

どうぞよろしくお願いたします！



地元愛をカタチに！  
日本の非公式ブック制作プロジェクト



Produced by



## Contact

ジャパントラベルアワード事務局  
(株式会社しいたけクリエイティブ)

03-4362-6074  
info@japantravelawards.com



[japantravelawards.com](http://japantravelawards.com)



クラウドファンディング挑戦中!

## Our Partners

**ACCESSIBLEJAPAN**

**Wanderlust**  
Taking The Road Less Travelled Since 1999

 **やまところ.jp**